

## 公共施設用照明器具の概要

### JIL5004-2015の概要

#### ■ 構造および構成部品

##### ● 機械的構造

(1) 外形寸法の許容差(金属部分に限る)は、表1に示す値以下であること。なお、使用部材・材料が2種類以上の複合の場合はそれぞれの材料ごとに示す値以下であればよい。

表1 外形寸法の許容差

単位:[mm]

外形寸法	200以下	200を超え 450以下	450を超え 700以下	700を超え 1,400以下	1,400を 超えるもの
単独に使用する器具(注1)	±1.5	±2.0	±2.5	±3.0	±5.0
連結して使用する器具(注2)	±1.0	±1.5	±2.0	±2.5	±3.0
絞り部分、ダイカスト部分 及び反射がさの幅	±2.0	±3.0	±5.0	±10.0	—
鋳物部分	±5.0	±5.0	±5.0	—	—

注1) 絞り部分、ダイカスト部分、反射がさの幅及び鋳物部分を除く。

注2) 連結して使用する器具の連結部分には、美観を損なうような寸法差があってはならない。

(2) 防雨形、防湿形などの防水器具の構造は次による。

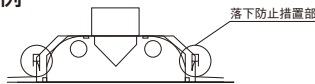
(a) 防雨形は、JIS C 8105-1「照明器具—第1部:安全性要求事項通則」[防雨形照明器具]による性能を有すること。

(b) 防湿形は、JIS C 0920「電気機械器具の外郭による保護等級(IPコード)、同付属書2(参考)照明器具の高温、高湿に対する保護等級」の「3.補助文字」に記載されるMP(高温、高湿形)による性能を有すること。

(c) 防雨形の埋込み形ダウンライトの防水性能はJIS C 8105-1(じんあい、固形物及び水気の侵入に対する試験)の規定による。

(3) システム天井用の器具には落下防止措置を施してあること。落下防止措置の一例を図1に示す。

図1 落下防止措置の一例



(4) ボールヘッド形、アーム取付形器具で、LED制御装置を別置とする場合は、LED制御装置をボール内蔵とする。

(5) 照明用ボールには配線用遮断機(トリップ機能無し)又はカットアウトスイッチ(ヒューズ付)を取り付けられる構造であること。

(6) 照明用ボールは、本規格に掲載したボールヘッド形、アーム取付形LED器具との組み合わせにおいてJIL 1003「照明用ボール強度計算基準」の規定により計算し、設計風速60m/sに耐えられる強度を有すること。

なお、地域、設置条件などによって照明器具などの付属物を含めたボール全体の高さが6m以下のものについては、設計風速40m/sのものを採用してもよい。

(7) 埋込み形ダウンライト器具で器具質量が1.5kgを越え、3kg以下のものは、脱落が防止できる構造のものとする。器具質量が3kgを越えるものについては、吊りボルトに取り付けられる構造であること。

(8) 照明器具は、(一社)日本照明工業会技術資料A127「照明器具の耐震設計・施工ガイドライン」に従って設計することが望ましい。

(9) 器具に使用する金属材料は、原則として塗装、めっきなどの仕上げを行う。ただし、通常の使用状態では見えない部分に、亜鉛めっき鋼板及びステンレス鋼板、また見える部分に塗装亜鉛めっき鋼板(亜鉛めっきの上に塗装したもの)及び塗装ステンレス鋼板(ステンレス鋼板の上に塗装したもの)を使用する場合は塗装を省略できる。

(a) 塗装する場合は、原則として、表2又は同等以上の方法により器具の外表面及び反射面をむらなく均一に行うこと。

(b) めっきする場合は、原則としてJIS H 8610「電気亜鉛めっき」に規定する2級以上とする。

(c) アルミニウムの表面加工の場合は、陽極酸化皮膜仕上げ又は、これと同等以上の表面皮膜仕上げを行う。

(10) 鏡面仕上げと表記のあるものは、照明器具の反射面の輝度や照射面の均斉度を配慮し、研磨処理やアルミ蒸着処理などにより正反射率を高めること。

(11) 背面形式は、附表2によること。各機種別の適用は付属書による。

(12) 埋込み形器具の天井切込み寸法の適用は付属書による。

表2 塗装仕様

用途	材料	前処理(注1)	上塗り	
器具本体	一般形	銅板	りん酸塩処理	アミノアルキッド樹脂焼付塗装
		亜鉛めっき銅板	りん酸塩処理又はエッチングプライマ	
	防水形	銅板	りん酸塩処理及びさび止めペイント	アクリル樹脂、エポキシ変性メラミン樹脂又はポリウレタン樹脂焼付塗装
		亜鉛めっき銅板	りん酸塩処理又はエッチングプライマ	
		ステンレス	—	
	耐塩形	亜鉛めっき銅板	さび止めペイント又はエッチングプライマ	—
ステンレス		—		
ボール、アーム(注2)	銅材	さび止めペイント	—	
	銅材 溶融亜鉛めっき	エッチングプライマ及びさび止めペイント(注3)		

注1) 前処理においては、各仕様と脱脂を行う。

注2) ボールおよびアームは、さび止めペイントまでとする。なお、内面は塗装、めっきなどの仕上げは不要とする。

注3) 上塗りしない場合は、不要とする。

#### ● 電気的構造

(1) ランプ及びソケットを除き、充電部は使用状態及びランプの取替えの際に、感電や火災等の危険が生ずる恐れのないこと。

(2) 器具の定格電圧又は、使用電圧(定格二次電圧を含む)が150Vを越えるもの、防水形のもの及びその他保護接地が必要なものには、保護接地端子又は、保護接地用の口出線を設け、そのもの又は、その近傍に容易に消えない方法で接地用である旨の表示をすること。ただし、JIS C 8105-1 1.2.23クラスⅡ照明器具及び1.2.24クラスⅢ照明器具はこの限りでない。

なお、保護接地端子は、はんだを使用しないで太さ2.0mmの接地線を接続できる構造であること。

(3) 連結器具(連結部が覆われているもの。)の送り配線は、原則として器具内配線に準ずる。

(4) 器具は、原則として、口出線又は電源電線を直接接続できる端子を設けることとし、次による。

(a) 口出線を設ける場合は、器具外の長さは150mm以上であること。

(b) 器具に端子を設ける場合は、端子に電源電線を接続した状態で充電部が露出しないこと。

(c) 器具に端子を設ける場合は、原則として、定格電流20A以上の電源送り接続可能な端子を有すること。ただし、端子台の定格とは別に、断熱施工器具等、器具側で送り容量を明示している場合には、その表示による。

(5) 連続調光形LED器具には、原則として太さ1.2mmの軟銅線の送り接続可能な調光信号用端子を有すること。

#### ● 部品

##### ◆ ランプ

(1) 非常用照明器具に使用する非常用光源は、JIL 5501「非常用照明器具技術基準」、又は建築基準法施行例 第126条の5に適合すること。

(2) LEDモジュールは、原則としてJIS C 8105-3 付属書A「LED照明器具性能要求事項」、JIS C 8154「一般照明用LEDモジュール—安全仕様」、JIS C 8155「一般照明用LEDモジュール—性能要求事項」に適合すること。

##### ◆ LED制御装置

(1) 器具はJIS C 61000-3-2「電磁両立性—第3-2部:限度値—高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に適合すること。

(2) LED制御装置はJIS C 8147-2-13「ランプ制御装置—第2-13部:直流又は交流電源用LEDモジュール制御装置の個別要求事項」、JIS C 8153「LEDモジュール用制御装置—性能要求事項」の規定に適合するものでなければならない。

備考) 密閉されている器具以外の防水器具で、防雨形の器具には防まつ形又は防湿形のLEDモジュール制御装置、防湿形器具には防湿形のLEDモジュール制御装置を使用する。

##### ◆ ソケット

(1) 白熱電球用のソケットは原則として、JIS C 8302「E形受金をもつアダプタ及び分岐ソケット」またはJIS C 8280「ねじ込みランプソケット」に適合すること。また、直接電源電線を接続できる構造の端子を有するものにあつては、4.2(4)(b)による。

(2) LED光源用のソケットは、JIS C 8324「蛍光灯ソケット及びスタータソケット」、JIS C 8121-1「ランプソケット類—第1部:一般要求事項及び試験」に適合すること。

##### ◆ スイッチ

器具内用のスイッチは原則としてJIS C 8304「屋内用小形スイッチ類」に適合すること。

##### ◆ 照明カバー類

帯電しやすい材料(メタクリル、ポリスチレンなど)を使用する場合は、帯電防止剤を混入又は塗布する。

##### ◆ 拡散カバー

(1) 点光源が離れて並んでいるような非連続な光源イメージにならないよう、拡散カバーは乳白やプリズムなど拡散性の素材とする。

(2) 帯電しやすい材料(メタクリル、ポリスチレンなど)を使用する場合は、帯電防止剤を混入又は塗布する。

備考) 非連続なイメージとは、個々のLEDの存在がはっきりと目視で確認できるようなレベルのイメージのことを指す。

■ 光特性

● LED照明器具の最大器具取付間隔及び固有照明率

LED照明器具の最大器具取付間隔及び固有照明率につきましては、JIL5004-2015を参照いただくか、もしくは(一社)日本照明工業会のホームページにてご確認ください。

● LED器具の保守率(清掃間隔1年)

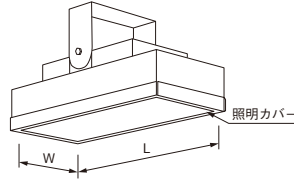
表3

点灯経過時間/周囲環境		40,000時間		
照明器具の種類		良い	普通	悪い
露出形	LSS1 LSS10	0.83	0.81	0.77
	LSS9 LRS3CC			
下面開放形 (下面粗いルーバ)	LRS3 LRS3SA20	0.81	0.77	0.68
	LRS4 LRS4F1			
	LRS6 LRS6L3G0			
	LRS6L5 LRS6SA20			
	LRS7			
	LRS8 LRS9F1			
	LRS10			
	LSS6 LSS7			
	LSR12 LBS5			
	LSR1 LSR2			
	LSR3			
	LSR1 LRS2			
	LRS11R			
	簡易密閉形 (下面カバー付)			
LSR1A LSR2A		0.77以上	0.72以上	0.68以上
LST1 LST2		0.63以上	0.6以上	0.56以上
LSA1 LSA2				
LPT1 LBF2				

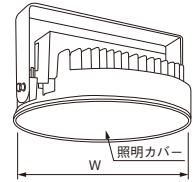
● 輝度値制限形LED高天井器具の輝度値

輝度値規制形LED高天井器具は、照明カバー等でまぶしさを抑えた器具とし、平均輝度値により定義する。平均輝度値(cd/m<sup>2</sup>)は、器具直下における光度1(cd)を発光部面積S(m<sup>2</sup>)で除した値とし、輝度値規制形LED高天井器具中照形の平均輝度値は350,000(cd/m<sup>2</sup>)以下とする。平均輝度値を算出する発光部面積は次により算出する。

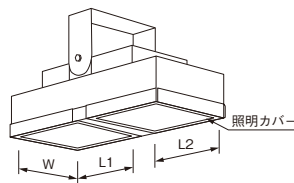
1)照明カバーが一体となった器具  
カバー形状が角形の場合  
S=W<sup>2</sup>L



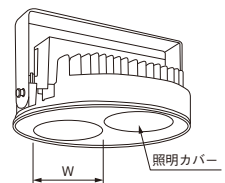
カバー形状が丸形の場合  
S=π(1/2W)<sup>2</sup>



2)照明カバーが分割された器具  
カバー形状が角形の場合  
S=W<sup>2</sup>L1+W<sup>2</sup>L2



カバー形状が丸形の場合  
S=2π(1/2W)<sup>2</sup>



● 非常用照明器具

非常用照明器具の光特性は光特性は次による。非常用照明器具の設置間隔は、JIL5501「非常用照明器具技術基準」の規定により算出し、表8の設置間隔表に適合すること。

● LED器具のグレア分類

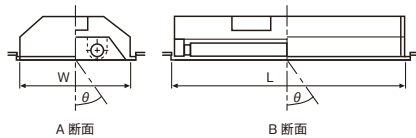
解説

「グレア分類」で要求するグレア分類V、G1b及びG2は、JIS C 8106 施設用LED照明器具:施設用蛍光灯器具、JIS C 8105-3照明器具-第3部:性能要求事項 附属書A「LED照明器具性能要求事項」より次のように定義される。

表4 グレア分類と輝度の制限値 単位:[cd/m<sup>2</sup>]

グレア分類	各鉛直角における輝度の制限値		
	65°	75°	85°
V	200	200	200
G0	3,000	2,000	2,000
G1a	7,200	4,600	4,600
G1b	15,000	7,300	7,300
G2	35,000	17,000	17,000
G3	制限なし		

備考1)A断面、B断面を異なったグレア分類で扱ってもよい。  
2)器具の輝度は規定された鉛直角における光度(1θ)を見かけの発光面積で除した値とする。  
3)輝度値を算出する「見かけの発光面積(Aθ, Bθ)」は、次によって算出する。  
下面開放器具(ルーバを含む。)及び平板(プリズムを含む。)の透光性カバー付器具は、次の式による。  
A, B断面とも Aθ=LWcosθ, Bθ=LWcosθ



● LED器具の遮光角

LED器具の遮光角(α)は次による方法で定義し、各機種別の適用は附属書による。

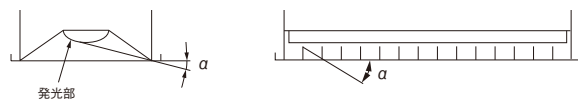


図1 遮光角の定義(LEDベースライト)

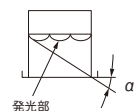


図2 遮光角の定義(LEDダウンライト)

備考 器具においてランプが目に入らない限界線と器具の水平線とのなす角度をいう。

表5 設置間隔表

単位:[m]

器具形式	配置方法	取付高さ					
		2.1	2.4	2.6	3.0	4.0	
K0-IRS5-40	単体配置	A1	3.6	3.8	3.8	3.9	3.9
	直線配置	A2	8.3	9.0	9.4	10.1	10.9
	四角配置	A4	6.9	7.5	7.9	8.6	10.0
	壁からの距離	A0	2.5	2.6	2.6	2.6	2.2
	単体配置	A1	2.6	2.5	1.9	—	—
K1-LRS11-1	直線配置	A2	5.6	6.2	6.4	7.0	—
	四角配置	A4	4.6	5.1	5.4	6.0	—
	壁からの距離	A0	2.0	2.1	2.1	2.0	—
	単体配置	A1	4.0	4.4	4.6	2.7	—
	直線配置	A2	8.2	9.4	9.8	11.2	—
K1-LRS11-2	四角配置	A4	6.2	7.1	7.7	8.5	—
	壁からの距離	A0	2.8	3.2	3.2	2.0	—
	単体配置	A1	4.8	5.3	5.6	6.1	5.8
	直線配置	A2	10.2	11.4	12.2	13.6	16.7
	四角配置	A4	7.8	8.7	9.3	10.5	13.1
K1-LRS11-3	壁からの距離	A0	3.5	4.0	4.3	4.4	2.9
	単体配置	A1	2.6	2.5	1.9	—	—
	直線配置	A2	5.6	6.2	6.4	7.0	—
	四角配置	A4	4.6	5.1	5.4	6.0	—
	壁からの距離	A0	2.0	2.1	2.1	2.0	—
K1-LSS11-1	単体配置	A1	3.8	4.2	4.5	2.7	—
	直線配置	A2	7.9	9.0	9.7	11.0	—
	四角配置	A4	6.1	6.8	7.4	8.2	—
	壁からの距離	A0	2.8	3.1	3.3	2.0	—
	単体配置	A1	4.8	5.3	5.6	6.1	5.8
K1-LSS11-2	直線配置	A2	10.2	11.4	12.2	13.8	16.7
	四角配置	A4	7.8	8.7	9.3	10.5	13.1
	壁からの距離	A0	3.5	4.0	4.2	4.6	4.3
	単体配置	A1	2.4	2.5	2.5	2.6	1.9
	直線配置	A2	5.5	5.9	6.1	6.4	6.9
K1-LSS14MP-2	四角配置	A4	5.0	5.3	5.5	5.8	6.5
	壁からの距離	A0	1.5	1.7	1.7	1.8	1.1
	単体配置	A1	3.3	3.5	3.7	3.9	4.4
	直線配置	A2	7.7	8.2	8.5	9.2	10.4
	四角配置	A4	6.8	7.2	7.4	8.0	9.1
K1-LSS14MP-3	壁からの距離	A0	2.1	2.3	2.4	2.6	2.9

備考 器具取付高さが、本表にない場合は直線補完により数値を求める。

## 公共施設用照明器具の概要

### ■性能および試験

- (1)性能及び試験は、機種ごとに該当する電気用品の技術上の基準、JIS規格及びJIL規格の規定によること。
- (2)照明器具の受渡試験は原則として表6及び表7に基づいて行う。  
ただし、JISマーク表示品は、試験成績書の提出を省略することができる。

表6 標準試験項目

器具の種類	試験方法	試験項目					
		構造	点灯	絶縁抵抗	耐電圧	防水	動作(注1)
LED照明器具	JIS C8105-3(別冊)による	○	○	○	○	○	○(注2)
非常用照明器具	JIL 5501による	○		○	○		○
誘導灯器具	JIL 5502による	○		○	○		○
照明制御装置	各社標準による	○		○	○		○

注1) 動作は非常用照明器具、誘導灯器具の場合は切替動作の確認を、照明制御装置の場合は、センサ動作確認を出力信号の測定にて実施する。  
注2) 防水形器具に限り、試験方法はJIS C8105-1 9.2 じんあい、固形物及び水気の侵入に対する試験による。

表7 試験項目及び標準試験個数

単位:[個]

試験項目	機種別器具数量				
	10以下	11~50	51~200	201~500	500を超える場合
構造試験					
点灯試験	2	4	7	10	13
絶縁抵抗試験					
耐電圧試験					
防水試験	1	2	2	2	2
動作試験					

備考 試験個数は、各機種別器具より任意に抜取るものとし、試験の結果、不良と判定されたものがある場合は、その試験個数の倍数の抜取り試験を行い、さらに不良と判定されたものがある場合は、全数試験を行う。

### ■表示

- (1)表示項目は、法令による規定、関連するJIS規格及び団体規格の規定による。銘板表示の方法は、ガイドA102「照明器具の銘板等の表示」を基本とする。
- (2)表示箇所は、JIL7002「照明器具の表示箇所標準」による。

### ●材料

表8

記号	名称
SPC	鋼板 (SPH、SGC、SEC、CGCなどを含む。)
A1P	アルミニウム板
A2S	アルミニウム押出材
ADC	アルミニウム合金ダイカスト
ZDC	亜鉛合金ダイカスト
FC	鉄铸件
AC	アルミニウム合金铸件
ST	鋼管
STK	一般構造用炭素鋼管
AT	アルミニウム及びアルミニウム合金管
P	合成樹脂 (PMMA、PS、UFなどの総称。)
PMMA	メタクリル樹脂
PC	ポリカーボネート樹脂
GC	型板ガラス
GR	強化ガラス
GFR	つや消し乳白ガラス
GD	すりガラス
GH	硬質ガラス
GF	乳色ガラス (つや消し乳白ガラスを含む。)
GA	透明ガラス
GB	色ガラス
SUS	ステンレス鋼板
SS	一般構造用圧延鋼材
SM	溶接構造用圧延鋼材
SMA	溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材
STKR	一般構造用角形鋼管
SGP	配管用炭素鋼管

備考 SPC:冷間圧延鋼板及び鋼帯 SGC:溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯  
SPH:熱間圧延軟鋼及び鋼帯 CGC:塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯  
SEC:電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (塗装電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯を含む)

### ●照明器具の記号

(1)記号<表1>

光源の種類		器具の種類		器具の種類	
種類	記号	器具の形状	記号	器具の形状	記号
蛍光灯ランプ	F	埋込天井灯(カバーなし)	RS	ブラケット(カバーなし)	BS
		埋込天井灯(カバー、枠付き)	RF	ブラケット(カバー、枠付き)	BF
		埋込天井灯(ルーバ付き)	RL	ブラケット(カバー付き、枠なし)	BC
LEDモジュール	L	直付天井灯(ルーバ付き)	SL	標識又は表示灯	PL
		直付天井灯(カバーなし)	SS	屋外灯(柱頭形、防雨形)	ST
		直付天井灯(反射がさ付き)	SR	屋外灯(アーム付き、防雨形)	SA
白熱球	I	直付天井灯(カバー、枠付き)	SF	投光器	PJ
				ガーデンライト	PT
その他		照明制御装置	DS		

(2)光源の種類と大きさ<表2>

非常用照明用電球	ミニ電球(注1)		ミニハロゲン電球(注2)		LED	
	定格ランプ力	記号	大きさの区分	定格ランプ力	記号	大きさの区分
	40ワット	40	JE9形	9ワット	JE9	JE9形
			JE13形	13ワット	JE13	JE13形
			JE30形	30ワット	JE30	JE30形

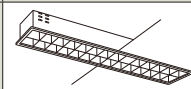

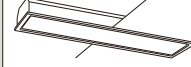
注1) JIL 5501 附属書3によるミニ電球とする。  
注2) JIL 5501 附属書3によるミニハロゲン電球とする。

### (3)照明器具の分類

表9

用途	照明器具の形状	器具の種類
一般屋内用	ベースライト形	LRS3 LRS4 LRS6 LRS7 LRS8 LRS9 LRS10 LSS1 LSS6 LSS7 LSS9 LSS10 LSR12
	高天井形	LSR1 LSR2 LSR3
	ダウンライト形	LRS1 LRS2 LRS11R
	ブラケット形	LBF3 LBS5
屋外用	ポール形	LST1 LST2 LSA1 LSA2
	ガーデンライト形	LPT1
	ブラケット形	LBF2
防災用	投光器	LPJ1
	非常用照明及び誘導灯	K0-IRS5 K1-LRS11 K1-LSS11 K1-LSS14 SH1-FRF20P、21P SH1-FSF20、21 SH1-FBF20 SH1-FBC20 ST1-FRF22P、23P ST1-FSF22、23 ST1-FBF22 ST1-FBC22 K1-LBF11 SK1-LBF11 LDS1-K1-LBF11 LDS2-SK1-LBF11

### ●ルーバおよびカバー<表3>

	ルーバ等の記号		器具の形状
	形状記号	性能記号	
ルーバ	L3	G0	 長方形の開口部を連続的に配置した形状
	L5	—	 複数の遮光板を平行に組み合わせた形状
照明力カバー	F1	—	 平板形状



●非常用照明器具および誘導灯

(1)器具の種類と電源〈表4〉

器具の種類	電源別記号	電池内蔵形
非常用照明器具	K0	K1
通路誘導灯	—	ST1
避難口誘導灯	—	SH1
階段通路誘導灯と非常用照明器具を兼用する器具	—	SK1

備考 1.K0、K1は建築基準法関係法令による非常用照明器具である。K0は電源別記号で、K1は電池内蔵形とする。  
2.ST1、SH1は消防法関係法令による誘導灯とする。SK1は建築基準法関係法令による非常用照明器具及び消防法関係法令による誘導灯を兼用したものである。  
3.専用形非常用照明器具は通常時消灯、非常時点灯とする。

(2)誘導灯の形式および機能による区分〈表5〉

形式及び機能	記号
一般形	なし
パネル形	P
点滅形	F
点滅式誘導音付加形	AF

(3)誘導灯の仕様による区分〈表6〉

仕様	記号
C級	C
B級BL形	BL
B級BH形	BH
A級	A
60分間定格	60

備考 1.60分間定格のものは、末尾に60を追記する。ただし、非常灯と兼用形のものには-60を追記する。

●人感センサによる照明制御装置を内蔵する照明器具

表10

装置及び器具の種類	記号
〈人がいなくなると消灯〉 人感センサを内蔵し、自動点滅を行えるものとする。なお、感知範囲は内蔵されたセンサから直線距離2.5m以上感知できるものとし、感知後即時点灯し、感知されなくなってから消灯するまでの時間は内蔵のタイマにより1～10分の範囲内に設定されていること。	LDS1
〈人がいなくなると減光〉 人感センサを内蔵し、自動的に減光が行えるものとする。なお、感知範囲は内蔵されたセンサから直線距離2.5m以上とし、感知後100%点灯し感知されなくなってから減光するまでの時間は、内蔵のタイマにより1～10分の範囲内に設定されていること。減光時の光束は感知時の全光束に対しての比率で30%以下で設定されていること。	LDS2

備考 器具に人感センサを内蔵し、熱線の変化を検出して照明を点滅することができる機種は、器具記号の前に本表の記号を記入する。表示例 LDS2-LRS1-850LMLN9

●LED制御装置

(1)LED制御装置の種類〈表7〉

制御装置の種類	記号
初期照度補正形 定格光束に保守率を乗じた光束以上で点灯を開始し、初期照度補正期間またはLEDモジュール寿命時まで連続的に出力をあげ、ほぼ一定の光束を保つようにしたもの	LJ
一般形 定格消費電力で点灯するもの	LN
連続調光形 調光信号により連続的に出力を制御し、定格光束を100%とした場合に調光下限値を5%以下としたもの	LZ
連続調光形 調光信号により連続的に出力を制御し、定格光束を100%とした場合に調光下限値を35%以下としたもの	LX

備考 1.保守率とは、初期照度補正期間またはLEDモジュールの寿命時におけるLEDモジュールの設計光束維持率にLED照明器具の設計光束維持率(周囲環境による器具の汚れ等)を乗じた値とする。  
2.連続調光形制御装置を使用したものは、照明制御装置(DS1及びDS2)で動作可能なこと。ただし、点滅タイプ(N)は除く。  
3.照明制御装置を内蔵するLED照明器具(LDS1、LDS2)のLED制御装置の種類はLNとする。

(2)定格入力電圧および周波数

(a)定格入力電圧〈表8〉

定格入力電圧	記号
100V	1
200V又は200～242V	2
100V/200V	9

備考 1.記号9はユニバーサル電圧(100～242V等)に対応するものとする。

(b)周波数〈表9〉

周波数	記号
50Hz/60Hz	5/6

備考 1.記号5/6は50Hz、60Hz共用のものとする。  
2.電子安定器、LED制御装置の場合、周波数の記号は省略する。

●ポールの種類およびポールの地上高〈表10〉

種類	記号	ポールの地上高	記号
ポール	T	3.5m	3.5
ポール(ベースプレート式)	TB	4.0m	4
		4.5m	4.5
		5.0m	5
		5.5m	5.5

■参考

表示例1-1 非常用白熱灯器具

記号例	K	0	—	1	RS	5	—	40
内容項目	用途区分	電源種別	光源の種類	器具の形状	器具の形(注1)	光源の種類と大きさ		
〈表No.〉	4	4	1	1	—	2		

注1)器具の形は、機種別仕様の番号(1～n)による。

表示例1-2 避難口誘導灯・通路誘導灯

記号例	SH	1	—	F	RF	20	P	—	C
内容項目	用途区分	電源種別	光源の種類	器具の形状	器具の形(注1)	機能による区分	仕様による区分		
〈表No.〉	4	4	1	1	—	5	6		

備考 避難口誘導灯と通路誘導灯の光源の種類は、F光源の種類にLEDモジュールも含むものとする。  
注1)器具の形は、機種別仕様の番号(1～n)による。

表示例1-3 LED直付形照明器具

記号例	L	SS	1	□□	—	6300LM	—	2	LN	9
内容項目	光源の種類	器具の形状	器具の形(注1)	附加機能(注2)	定格光束(注3)	長さ(注4)	点灯方式	定格入力電圧		
〈表No.〉	1	1	—	—	—	—	7	8		

注1)器具の形は、機種別仕様の番号(1～n)による。  
注2)附加機能は、MP/RP:防湿防雨形  
注3)光束区分  
注4)長さは、2:20形、なし:40形

表示例1-4 LED埋込形照明器具

記号例	L	RS	5	L5	□□	—	1800LM	—	2	LN	9
内容項目	光源の種類	器具の形状	器具の形-1(注1)	器具の形-2(注2)	附加機能(注3)	定格光束(注4)	長さ(注5)	点灯方式	定格入力電圧		
〈表No.〉	1	1	—	—	—	—	—	7	8		

注1)器具の形は、機種別仕様の番号(1～n)による。  
注2)器具の形-2は、なし:下面開放、CC:Cチャンネル回避形、L3GO:GO分類、L5:並行ルーバ、F1:照明カバー(平パネル)、SA20:遮光角20°  
注3)附加機能は、MP/RP:防湿防雨形  
注4)光束区分  
注5)長さは、2:20形、なし:40形

表示例1-5 LED直付高天井灯器具

記号例	L	SR	1	A	M	—	3400LM	LJ	2
内容項目	光源の種類	器具の種類	器具の形(注1)	輝度値規制形(注2)	配光形式(注3)	定格光束(注4)	点灯方式	定格入力電圧	
〈表No.〉	1	1	—	—	—	—	7	8	

注1)器具の形は、1:丸形、2:角形  
注2)輝度値規制形は、A:輝度値規制なし形  
注3)配光形式は、M:中照形相当、W:広照形相当  
注4)光束区分

表示例1-6 LED投光器

記号例	L	PJ	1	N	—	1800LM	LJ	2
内容項目	光源の種類	器具の種類	器具の形(注1)	配光形式(注2)	定格光束(注3)	点灯方式	定格入力電圧	
〈表No.〉	1	1	—	—	—	7	8	

注1)器具の形は、機種別仕様の番号(1～n)による。  
注2)配光形式は、N:JIS C 8113 8.2の表2のビームの開き30°未満とする。  
M:JIS C 8113 8.2の表2のビームの開き30°以上60°未満とする。  
W:JIS C 8113 8.2の表2のビームの開き60°以上とする。  
注3)光束区分

表示例1-7 LEDポール灯

記号例	L	ST	1	—	6300LM	LJ	2	—	T	3.5
内容項目	光源の種類	器具の種類	器具の形(注1)	定格光束(注2)	点灯方式	定格入力電圧	ポールの種類	ポールの地上高		
〈表No.〉	1	1	—	—	7	8	10	10		

注1)器具の形は、機種別仕様の番号(1～n)による。  
注2)光束区分

表示例1-8 非常用LED照明器具

記号例	K	1	—	L	RS	11	—	1
内容項目	用途区分	電源種別	光源の種類	器具の形状	器具の形(注1)	光源の種類と大きさ		
〈表No.〉	4	4	1	1	—	2		

注1)器具の形は、機種別仕様の番号(1～n)による。

表示例1-9 LEDダウンライト

記号例	L	RS	1	PR	—	850LM	—	1	LN	9
内容項目	光源の種類	器具の形状	器具の形(注1)	附加機能(注2)	定格光束(注3)	識別(注4)	点灯方式	定格入力電圧		
〈表No.〉	1	1	—	—	—	—	7	8		

注1)器具の形は、機種別仕様の番号(1～n)による。  
注2)附加機能は、RP:防雨形、R:廊下用  
注3)光束区分  
注4)中止機種との識別(-1～n)による。